学校自慢

150年の歴史と伝統を大切に 未来に向かって

流山市立流山小学校校長　小島（こじま）　秀代（ひでよ）

1　はじめに

本校は、学制が発布された明治５年、常興寺（じょうよじ）に開校し、昨年度創立150周年を迎えた歴史ある学校である。現在、児童数1,080名、学級数37学級の大模模校である。今年度は、９月に創立150周年記念式典を行うとともに、流山市立博物館では本校150年の歴史について企画展が行われている（７～11月）。

2　学校自慢ベスト４！

⑴学校・町に歴史遺産がいっぱい！

本校には、オックスフォード大学を模して造られたという花崗岩の門柱を持つ正門や、市指定有形文化財の明治時代に県知事から贈られた額、旧校舎の鬼瓦などがある。学区には、かつて江戸川の水運やみりん醸造業で栄え、今も神社仏閣をはじめ土蔵や老舗店など歴史ある建造物が点在する流山本町があり、100基を超える手作りの切り絵行灯が置かれ、レトロな雰囲気を醸し出している。

６年生は、この「切り絵行灯」を２年前から卒業制作として地域の名人に学んでいる。

⑵素直で人なつこく優しい子供たち！

歴史と伝統ある温かい地域のおかげで、本校児童はとても人なつこく素直である。「め（目を見て）え（笑顔で）げ（元気よく）こ（心をこめて）」の合言葉で児童会・生活委員会が率先してあいさつ運動を行っている。

⑶創立150周年記念オリジナルソング！

本校の校歌は大正４年に作られ、現在も大切に歌い継がれている。昨年度、創立150周年を記念して、児童の思いをもとに新たに「流山小学校にあるもの」と「流山スピリット！」の２曲が生まれ、校歌とともに親しまれている。

⑷教育的ニーズに合った教育の推進

現在、知的障害特別支援学級（なかよし）２学級と情緒障害特別支援学級（かがやき）３学級、言語通級指導教室（ひびき）がある。なかよし・かがやき学級では年間を通して和太鼓の練習に取り組み、「ソーラン節」「パプリカ」など様々な曲に親しみ、踊りと和太鼓を合わせた表現活動を生き生きと楽しんでいる。

また、全校児童を対象に教室に行きにくい時などでも登校しやすい居場所として「ほっとルーム」を設け、保護者と連携して、児童理解に努めながら全教職員で個別の教育的ニーズに合った環境づくりに努めている。

創立150周年記念航空写真

3　おわりに

創立150周年の節目にあたり、あらためて本校が地域とともに歩んできたことを実感している。現在も安全見守り活動など地域の応援にとても助けられている。これからも本校の歴史と伝統を大切にしながら、学校経営方針「地域とともにつくる日本一楽しい学校」の実現を目指していきたい。